

## 都市の緑3表彰

### 「第34回緑の都市賞」「第25回緑の環境デザイン賞」「第13回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」 受賞者決定

公益財団法人都市緑化機構では、人々の暮らしに潤いと安らぎを与え、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全に寄与する都市の緑地保全と緑化推進の普及啓発を目的に、3つの顕彰・表彰事業(「緑の都市賞」「緑の環境デザイン賞」「屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」)を「都市の緑3表彰」の冠銘のもと、本年4月1日より7月31日まで募集し、このたび、厳正な審査の結果、受賞者が別紙のとおり決定いたしました。

#### 【緑の都市賞】(特別協賛:第一生命保険株式会社)

緑の都市賞は、明日の緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指して、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に取り組み、緑化や緑の保全の実績に良好な効果をあげている市民団体、民間企業、公共団体等の団体を顕彰し、都市の緑化推進、緑の保全による快適で地球に優しい生活環境の創出を推進することを目的とするもので、本年度で第34回を迎えます。(別紙 1-1~1-3)

#### 【緑の環境デザイン賞】(共催:第一生命保険株式会社)

「緑の環境デザイン賞」は、地域の美しい景観形成や人と自然が共生する都市環境の形成に寄与する緑化プランを公募し、表彰・助成する顕彰制度です。このたび、5つの作品の受賞が決まり、副賞(緑化工事助成)により、平成27年春には新たな緑地が誕生する予定です。(別紙 2-1,2-4)

また、「緑の環境デザイン賞」25周年記念特別企画として、本賞助成により創出され、緑が成長し地域の方に親しまれるなど、受賞後一層価値を高めた25作品がすでに「継続優良賞」として選定されていますが、この中から特に優れた作品が、審査委員の選定により「国土交通大臣賞」、「都市緑化機構会長賞」「審査委員特別賞」に決定しました。(別紙 2-2,2-3,2-5)

#### 【屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール】(特別協賛:住友林業株式会社)

本コンクールは、屋上等特殊空間の緑化について、積極的に取り組み優れた成果をあげている民間企業、公共団体、個人等を顕彰することにより、屋上等特殊空間の緑化技術の一層の普及推進を図り、もって都市環境の改善を進め、豊かな都市生活の実現に寄与することを目的としており、本年度で第13回を迎えます。(別紙 3-1~3-3)

※審査委員が密接に関係する応募作品がある場合には、関係する審査委員は審査評価には関与しないよう配慮し審査委員会を運営しております。

## 第34回 緑の都市賞 審査結果

第34回「緑の都市賞」は、平成26年4月1日から7月31日にかけて募集を行いました。その結果、全国から43点の応募があり、同年9月24日の審査委員会において次の作品の受賞が決定しました。

### ◎内閣総理大臣賞 [1点]

受賞部門	応募者名	施設名/場所	概要
緑の事業活動部門	積水ハウス株式会社	新梅田シティ 『新・里山』 『希望の壁』 (大阪府大阪市)	大阪駅前に立地する8000㎡の一般に開放された緑地。日本人の原風景である里山を手本にし、雑木林・竹林・棚田・野菜畑・茶畑等から構成される。多様な生き物、多様な人々が息づき、触れ合う場を形成している。

### ◎国土交通大臣賞 [3点 副賞15万円(活動助成金)※]

受賞部門	応募者名	施設名/場所	概要
緑の市民協働部門	名東自然倶楽部	猪高緑地 (愛知県名古屋市)	宅地化が進む街中に残された「緑の孤島」。長年放置され荒れた森となってしまった本緑地を、市民の手で保全・活用し、良好な里山環境を取り戻しつつある。活動を通じ、貴重な環境資源を次世代に受け継ぐ。
緑の事業活動部門	株式会社メディカルマネジメント松沢 東京パワーテクノロジー株式会社	都立松沢病院 (東京都世田谷区)	歴史ある病院の再整備事業に伴い、「こころの風景を療養の空間に再編する」ことを目指したもの。既存木を保存することを原則とし、既存の緑の中にはめ込まれるように新館などの施設の建設を実現し、良好な景観を形成している。
緑のまちづくり部門	所沢市	埼玉県所沢市	みどりの基本計画による総合的な方針と、それに基づく「里山保全地域等指定事業」や「みどりのパートナー活動推進事業」などの各施策が着実に展開され、緑地の保全、緑化の推進と共に、その担い手の確保が進められている。

※ 副賞の活動助成金は、「緑の市民協働部門」の受賞団体のみが対象となります。

◎都市緑化機構会長賞 [3点 副賞10万円(活動助成金)※]

受賞部門	応募者名	施設名/場所	概要
緑の市民協働部門	長崎県立島原農業高等学校	しまばら芝桜公園 (長崎県島原市)	雲仙普賢岳の噴火災害を受け建設された砂防ダムを、市民が憩う公園へと再生させようと、同学校と地域とが一体となって取り組む活動。25万株の芝桜を植栽し、8万人の来訪者を誘致するまでになり、復興の足がかりとなっている。
緑の事業活動部門	三井住友海上火災保険株式会社	三井住友海上駿河台ビル・駿河台新館 (東京都千代田区)	オフィスビルの建設に伴う質の高い緑地の創出。「生物多様性緑化のための樹木・植栽選定基準」を設けるなど、「事業者が『緑』で地域にどのように貢献できるか」を様々な手法を用いて試みている。
緑のまちづくり部門	京都府	関西文化学術研究都市(京都府域) (京都府 木津川市、京田辺市、精華町)	緑豊かな都市づくりをコンセプトとし、景観法に基づく景観計画により、緑を用いた良好な景観コントロールが実現されている。立地企業もこれに積極的に参加しており、景観形成が、都市の価値、企業価値の向上に貢献している。

※ 副賞の活動助成金は、「緑の市民協働部門」の受賞団体のみが対象となります。

◎奨励賞 [4点 副賞5万円(活動助成金)※]

受賞部門	応募者名	施設名/場所	概要
緑の市民協働部門	船橋小径の会	世田谷区地域風景資産『季節の野草に 出会う小径』 (東京都世田谷区)	都会では珍しくなった未舗装の路地で、懐かしい景観として親しまれてきたが、近年緑が失われ始めてきていた。H15年、地域住民によりこの路地の風景と環境を保全・育成するための会が発足し、自然と触れ合う場、緑あふれる安らぎの場を残すことを目指し活動している。
	大阪府立園芸高等学校環境緑化科 (大阪府池田市)	妙見の森・梅田スカイビル・狭山池公園・笹原公園・彩都西公園、伊丹空港・長居公園パタフライガーデン (大阪府大阪市・兵庫県伊丹市)	生き物に触れる機会が大変少なくなっていることを課題視し、食餌・吸蜜植物を栽培し都市部の身近な場所に植栽し、人々が蝶をはじめとする生き物と触れ合える場所を創出しようとする取り組み。環境教育の場として幼稚園児、小学生、中学生等に活用されている。
緑の事業活動部門	株式会社ヤマト	ヤマト ビオトープ園 (群馬県前橋市)	ビオトープ園は「企業の森を造ろう」の合言葉のもとに里山の原風景の復元を目指す。生物の生育に適さない水質を改善し使用しており、ホタルやメダカ等の魚類の育成にあたっている。野鳥の巣営も確認でき、少しずつ豊かな自然を取り戻しつつある。
	関電不動産株式会社 ダイビル株式会社 株式会社日建設計	中之島四季の丘・ダイビル本館 (大阪府大阪市)	オフィスビルの建築に伴い、人工地盤上に緑地を創出。河岸沿いの花木類との連続性を意識し、春に花を楽しむことができる花木を中心に植栽し、「花の丘」としている。オフィスワーカーをはじめ、市民の憩いの場となっている。

※ 副賞の活動助成金は、「緑の市民協働部門」の受賞団体のみが対象となります。

## 第 34 回 緑の都市賞 の概要

### ■ 目的

明日の緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に取り組み、緑あふれる施設づくり、街並みづくりに卓越した成果を上げている市民活動団体及び企業等、並びに都市の緑の保全や緑化の推進に个性的な施策に取り組み、顕著な成果を上げている公共団体を顕彰し、緑豊かなまちづくりの普及と実現を目指すものです。

### ■ 応募の内容と資格

緑の市民協働部門	応募資格：主に市民団体 ボランティアを基本とした緑化活動で、地域の社会や環境へ貢献するものとします。
緑の事業活動部門	応募資格：主に民間事業者 ・民間、公共を問わず都市の緑の保全や創出を事業活動またはその一環として取り組んでいるものとします。 ・NPO 法人等でも、公園の指定管理者など活動の大半を委託事業として取り組んでいるものも含まれます。 ・学校や病院等でも、業者委託での緑地の整備や管理なども含まれます。
緑のまちづくり部門	応募資格：主に市区町村 都市全般の緑化に取り組み、その成果をあげているもので、地域の個性を活かした緑化を展開しているものとします。

### ■ 表彰

内閣総理大臣賞	1 点	全部門を通じて最も優秀なもの 1 点 [副賞20万円 (活動助成金)]
国土交通大臣賞	3 点以内	原則として各部門から優秀なもの 1 点 [副賞15万円 (活動助成金)]
都市緑化機構会長賞	3 点以内	原則として各部門から優れているもの 1 点 [副賞10万円 (活動助成金)]
奨励賞	若干	審査委員会において必要と認められた場合 [副賞 5万円 (活動助成金)]

※副賞の活動助成金は「緑の市民協働部門」の受賞団体のみを対象といたします。

### ■ 審査委員

委員長	樺山 紘一	印刷博物館 館長
委員	石川 幹子	中央大学 理工学部 教授
	井上 洋	一般社団法人 日本経済団体連合会 社会広報本部長
	小関 正彦	国土交通省 都市局長
	仙田 満	東京工業大学 名誉教授
	田代 順孝	千葉大学 名誉教授 千葉大学グランドフェロー
	山崎 誠子	日本大学短期大学部 建築・生活デザイン学科 准教授
	涌井 史郎	東京都市大学 教授
	渡邊 光一郎	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	宮下 和正	公益財団法人 都市緑化機構 専務理事

### ■ スケジュール

募集締切	平成26年7月31日	入選発表	平成26年10月16日
審査会	平成26年9月25日	表彰式	平成26年11月5日 於：ホテルオークラ

### ■ 主催等

主 催：公益財団法人都市緑化機構  
 後 援：国土交通省、総務省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会  
 特別協賛：第一生命保険株式会社  
 協 賛：日本商工会議所、公益社団法人日本青年会議所、一般社団法人日本公園緑地協会、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、一般財団法人公園財団、一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、公益財団法人河川財団、一般社団法人日本建設業連合会

## 第25回 緑の環境デザイン賞 審査結果

第25回「緑の環境デザイン賞」は平成26年4月1日から7月31日にかけて緑化プランの作品募集を行いました。その結果、全国から23点の応募があり、同年10月2日の審査会において次の作品の受賞が決定いたしました。

### ◎国土交通大臣賞(2点、副賞 緑化助成)

受賞者名	作品名/緑化場所	プラン概要
L.L.P.有限責任 事業組合 復興第一協力会	仙台湾沿岸地区海岸防災林 「社会貢献の森」 (宮城県名取市)	被災した海岸林を、地元子どもたちにクロマツの幼苗育成から参加してもらい再生する計画。活動への参加が将来への希望と自信に繋がると期待するもの。復興した美林を公開し後世に遺す事を目指す。
玉浦西まちづくり 住民協議会	岩沼市防災集団移転促進 事業対象地「玉浦西地区」 (宮城県岩沼市)	防災集団移転地における新たなまちづくりの中で、文化的景観としての地域の伝統的な防風林(居久根)を再現し、未来への継承を目指す。住民による維持管理を通じ、コミュニティの醸成をはかり育むことを目指す。

### ◎緑化大賞(3点、副賞 緑化助成)

受賞者名	作品名/緑化場所	プラン概要
社会福祉法人 わたげのほし	深山保育園 (長崎県諫早市)	公共福祉施設としての計画地に、田園都市諫早の原風景をビオトープやミニ水田という形で再生、地域に開放する計画。幼老が共に生物を育て、地域の自然や文化を共有することのできる場所の創出を目指す。
戸馳「夢の花咲く島」 推進協議会	宇城市戸馳花の学校 (熊本県宇城市)	地域で「じいばあ」と呼ばれ親しまれてきたシュンランが、乱獲や開発等により、絶滅が危惧されている。地域が一体となって島の原風景であるランの森を再生させ、次代へ継承することを目指す。
児童発達支援事業所 いっぽのひかり	児童発達支援事業所 いっぽのひかり (宮崎県北諸県郡三股町)	児童発達支援事業所の野外教育施設として、また地域の方々が自由に訪れ交流の場となる緑地の創出を目指す。豊かな自然環境を再生し、生き物との触れ合い、人々の触れ合いのきっかけづくりとなることを目指す。

第25回 緑の環境デザイン賞 継続優良賞

平成25年までに助成された「緑の環境デザイン賞」の受賞作品139作品のなかから、助成により創出された緑が成長し、地域の方に親しまれるなど一層価値を高めた25作品を「継続優良賞」として平成26年2月に選定しました(一次審査)。

このたび、「継続優良賞」25作品の中から、審査委員の選考により「国土交通大臣賞」、「都市緑化機構会長賞」「審査委員特別賞」が決定しました。

◎国土交通大臣賞(1点、副賞 活動助成金 20万円)

応募者名	作品名	場所	緑の環境デザイン賞 受賞年度
NPO 法人こもろの杜	大手門公園 小諸市民ガーデン	長野県小諸市	平成20年度

◎都市緑化機構会長賞(1点、副賞 活動助成金 15万円)

応募者名	作品名	場所	緑の環境デザイン賞 受賞年度
ひろしま自然の会	呉市二河公園	広島県呉市	平成22年度

◎審査委員特別賞(3点、副賞 活動助成金 10万円)

応募者名	作品名	場所	緑の環境デザイン賞 受賞年度
福島県いわき市	新川東緑地	福島県いわき市	平成6年度
一般社団法人 定山溪観光協会	定山源泉公園 (定山溪温泉 豊平川隣接広場)	北海道札幌市	平成16年度
南羊ヶ丘町内会	北国の空に溶け込む フォリッジ・コミュニティーガーデン	北海道札幌市	平成19年度

◎第25回 緑の環境デザイン賞 継続優良賞(一次審査通過25団体)

受賞作品名	受賞団体名	受賞年
仲西中学校正門前広場	沖縄県浦添市	H2 年度
新川東緑地	福島県いわき市	H6 年度
京陵中学校前緑地	熊本県熊本市	H6 年度
JR三宮駅南側広場	公益財団法人 神戸市公園緑化協会	H12 年度
松見公園 いやしの庭	NPO つくばアーバンガーデニング実行委員会	H12 年度
花のまちづくりセンター ふろーらむ	奈良県生駒市	H12 年度
医療法人光潤会 介護老人保健施設 ルーエしも つま	(医)光潤会介護老人保健施設ルーエしもつま	H15 年度
スルガ銀行前庭及びとうきゅうストア駐車場	NPOかまくら緑の会	H15 年度
港区立芝公園	港区民交流ガーデンクラブ	H15 年度
定山源泉公園(定山溪温泉豊平川隣接広場)	一般社団法人 定山溪観光協会	H16 年度
吉田町立図書館	静岡県吉田町	H16 年度
町家再生複合ショップ「萌(ホウ)」「練(レン)」「惣(ソ ウ)」	からほり倶楽部	H17 年度
新都心公園水の道(学びの森)	あけもどろ緑の会	H18 年度
学校法人押野学園川内幼稚園	学校法人押野学園 川内幼稚園	H18 年度
北国の空に溶け込むフォリッジ・コミュニティーガー デン	南羊ヶ丘町内会	H19 年度
JR高月駅東口ロータリー	長浜市	H19 年度
社会福祉法人仁寿福社会 特別養護老人ホーム 星陽	社会福祉法人 仁寿福社会 特別養護老人ホ ーム星陽	H19 年度
大手門公園小諸市民ガーデン	特定非営利活動法人 こもろの杜	H20 年度
南九州大学都城キャンパス ヒーリングガーデン	学校法人 南九州学園	H20 年度
みんなのもったいないガーデン(東京農業大学厚木 キャンパス)	東京農業大学農学部バイオセラピー学科植物 介在療法学研究室	H22 年度
京都テルサ(京都府民総合交流プラザ)	財団法人 京都府民総合交流事業団	H22 年度
呉市二河公園	ひろしま自然の会	H22 年度
小野学園自然観察園	学校法人小野学園女子中学・高等学校	H23 年度
南平用水路敷き及びみなみだいら児童館	南平・緑と水のネットワーク	H24 年度
清水と紫陽花きらめく「神原せせらぎの里」	宮原地区まちづくり推進委員会	H24 年度

## 第25回 緑の環境デザイン賞 の概要

■目的 緑豊かな都市環境の形成を図るとともに、生活の質の向上やコミュニティの醸成等に役立つことを願い、全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事成を行う。

### ■募集内容

- 緑化プラン 地域の美しい景観を形成すると同時に、ヒートアイランド緩和や生物多様性保全などの緑の持つ環境保全機能によって人と自然が共生する都市環境の形成に寄与するもの。
- 場所 公有地、私有地を問わず、小規模であっても公開性があり、都市計画区域内にあること。
- 植栽等 緑化助成による植栽等は、形状として一団、もしくは列状であること。
- 土地の所有 応募者と土地の所有者または管理者が異なる場合は、土地所有者または管理者から緑化プランの実現に関して同意が得られる見通しがあること。
- 応募者 公益法人、特定非営利活動を行う団体、学校、商店組合、町内会、事業所等の法人や任意団体、地方公共団体、公団・事業団・公社、区画整理や再開発を行う組合等の団体及びこれらと同等以上の団体であること。
- 募集期間 平成26年4月1日～7月31日

### ■審査及び表彰

- 審査 学識経験者等で構成する審査会により受賞作品を決定(審査会:平成26年10月2日)

#### 【審査委員】

委員長	進士	五十八	東京農業大学名誉教授
委員	赤坂	信	千葉大学大学院教授
	上村	多恵子	京南倉庫株式会社代表取締役社長・詩人
	小関	正彦	国土交通省都市局長
	鈴木	誠	東京農業大学教授
	松本	肇	株式会社産業経済新聞社取締役東京営業局長
	森	ミドリ	音楽家・エッセイスト
	渡邊	光一郎	第一生命保険株式会社代表取締役社長
	武富	正夫	第一生命保険株式会社執行役員
	宮下	和正	公益財団法人都市緑化機構専務理事

- 表彰 国土交通大臣賞 2点以内 賞状及び副賞(緑化助成金, 上限 800 万円)を贈呈  
緑化大賞 数点 賞状及び副賞(緑化助成金, 上限 800 万円)を贈呈

- 表彰式 平成26年年11月5日(於:ホテルオークラ)

### ■主催・後援・協賛・協力

- 主催 公益財団法人都市緑化機構, 第一生命保険株式会社
- 後援 国土交通省, 環境省, 全国知事会, 全国市長会, 全国町村会
- 協賛 一般社団法人建設広報協会, 一般社団法人日本公園緑地協会,  
一般社団法人日本造園建設業協会, 都市緑化基金等連絡協議会
- 協力 株式会社フジテレビジョン, 株式会社産業経済新聞社, 株式会社ニッポン放送

## 第25回 緑の環境デザイン賞 継続優良賞 の概要

■目的 緑の環境デザイン賞は、平成26年度に第25回目の節目を迎え、これまで整備された緑地は全国で139箇所となった。

そこで、四半世紀にわたる本賞の経緯を振り返り、受賞作品の緑地が地域社会や環境にもたらしている効果を評価するとともに、継続的で良好な緑地管理に尽力された関係者の方々を顕彰することを目的とする。

■対象 過去の本賞を受賞し整備された緑地(139箇所)のうち、「緑地の現況に関するアンケート調査」(実施期間:H25.12.10-H26.01.10)で回答があり、継続的な緑地管理が確認されたものとする。

■審査方法 主催者等で構成された審査会により第一次審査を行い、継続的で良好な緑地管理が認められた作品25箇所を選定し、更に有識者により構成される本審査会において、選定作品の中から特に優れた作品数点を選定する。

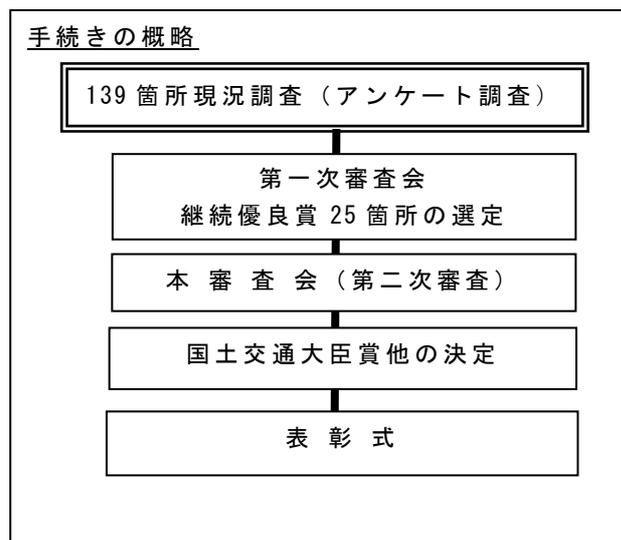
本審査会の委員長及び委員は、第25回緑の環境デザイン賞審査会同様とする。

### ■表彰

- |                   |     |              |             |
|-------------------|-----|--------------|-------------|
| ・国土交通大臣賞          | 1点  | 表彰状(国土交通大臣名) | 活動助成金(20万円) |
| ・都市緑化機構会長賞        | 1点  | 表彰状(緑化機構会長名) | 活動助成金(15万円) |
| ・審査委員特別賞          | 数点  | 表彰状(審査委員長名)  | 活動助成金(10万円) |
| ・継続優良賞(第一次審査選定作品) | 25点 | 表彰状(主催者名)    |             |

### ■スケジュール

- ・第一次審査：平成26年2月12日
- ・本審査会(第二次審査)：平成26年10月2日
- ・表彰式：平成26年11月5日(於：ホテルオークラ)



### ■主催・後援・協賛・協力

第25回緑の環境デザイン賞と同様とする。

第13回「屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」審査結果

第13回「屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」は、平成26年4月1日から7月31日にかけて募集を行いました。その結果、全国から28点の応募があり、同年9月10日の審査委員会において次の作品の受賞が決定しました。

◎国土交通大臣賞(屋上緑化部門:1点、壁面・特殊緑化部門:1点)

受賞部門	作品名/場所	受賞者名	概要
屋上緑化部門	目黒区立 目黒天空庭園 (東京都目黒区)	目黒区/首都高速道路株式会社/東京農業大学地域環境科学部造園科学科 元教授 近藤三雄/有限会社アースグリーン/戸田建設株式会社/株式会社日比谷アメニス	首都高大橋ジャンクションの屋上、地上高さ7~35mに創出された面積約7000㎡のループ状の庭園。ゾーン毎に四季を通じて“彩り”を楽しむことができる植栽材料を採用し、年間を通じてそれぞれに“見所”を演出している
壁面・特殊緑化部門	大正製薬 関西支店 (大阪府豊中市)	大正製薬株式会社/株式会社竹中工務店/株式会社日比谷アメニス	新築オフィスビルに整備された919.8㎡の特殊緑化空間。地下1階の中庭の竹林から、吹抜けを囲む形で設えられている2~8階までのバルコニーの緑化、また、屋上に設えられた薬草を含む庭園で構成されている。

◎環境大臣賞(屋上緑化部門:1点、壁面・特殊緑化部門:1点)

受賞部門	作品名/場所	受賞者名	概要
屋上緑化部門	新目黒東急ビル 屋上庭園 (東京都品川区)	東急不動産株式会社/清水建設株式会社/株式会社フィールドフォー・デザインオフィス/東光園緑化株式会社	テナントオフィスビルの、4,6,8階の屋上につくられた617㎡の屋上庭園。緑地を恒常的にワーカーに利用してもらえるように、LAN・コンセント対応のハイカウンターや掘込ベンチ等を設け、「庭で働く」ことを可能としている。
壁面・特殊緑化部門	緑ノビル (京都府京都市)	合同会社桐畑/株式会社宗本晋作建築設計事務所/長濱香代子庭園設計株式会社	極めて緑の少ない地域に立地する商業施設に整備された53㎡の壁面緑化。テナントビルとして人を惹きつける高い誘目性と、京都の厳しい景観規制を満足させるひとつの手法として、ファサードの全面を覆う緑化を導入。

◎日本経済新聞社賞(屋上緑化部門:1点、壁面・特殊緑化部門:1点)

受賞部門	作品名/場所	受賞者名	概要
屋上緑化部門	中之島 四季の丘・ ダイビル本館 (大阪府大阪市)	関電不動産株式会社/ダイビル株式会社/株式会社日建設計/株式会社大林組/住友林業緑化株式会社	事務所ビルに付帯する 3,736 m <sup>2</sup> の人工地盤上の庭園。地下駐車場等を支える矩形躯体に軽量盛土材を積載し、緩やかに傾斜する「自然な丘陵状」を形成し、花木を中心に植栽し、「花の丘」を創出。
壁面・特殊緑化部門	京セラ原宿ビル 耐震改修 (東京都渋谷区)	株式会社フィールドフォー・デザインオフィス/清水建設株式会社/京セラ興産株式会社	既存オフィスビルの耐震ブレースを活用した 23.8 m <sup>2</sup> の壁面緑化。耐震ブレース形状に合わせた三角形の緑化パネルユニットを製作し、ブレースをすっきりとカバーできるよう工夫。機能と緑化による美しさの両面を確保する。

◎都市緑化機構会長賞(屋上緑化部門:1点、壁面・特殊緑化部門:1点)

受賞部門	作品名/場所	受賞者名	概要
屋上緑化部門	プライド大井 ゼームス坂 (東京都品川区)	プライド大井ゼームス坂管理組合/野村不動産株式会社/株式会社日建ハウジングシステム/株式会社安藤・間/イビデングリーンテック株式会社	戸数 164 戸の集合住宅の、2 階～11 階の屋上につくられた大小さまざまな屋上庭園(合計:1,290 m <sup>2</sup> )。入居者が好みの植物を「メニュー」の中から選定することができるなど、緑を楽しむマンションライフを提供。
壁面・特殊緑化部門	東急プラザ 赤坂 オープンコリドール 「野に咲く花の回廊」 (東京都千代田区)	東急不動産株式会社/株式会社石勝エクステリア	複合施設の2階店舗前オープンコリドールに整備された、1368 m <sup>2</sup> の緑化空間。在来種の山野草を中心に、野趣に富んだ中低木をアクセントにした多品種混交植栽を行い、季節感豊かな潤いのある景観を創出している。

◎審査委員会特別賞(屋上緑化部門:2点)

受賞部門	作品名/場所	受賞者名	概要
屋上緑化部門	Sg / Secret garden (群馬県伊勢崎市)	株式会社 芦澤竜一建築設計事務所	戸建住宅の平屋屋上部につくられた 172.84 m <sup>2</sup> の屋上庭園(果樹園)。機能ごとに分かれた気積の異なる 12 の居室をリング状に配置したことで、回遊し視点の高さを変えながら、表情の異なる緑を楽しむことができる。
屋上緑化部門	灘中学校高等学校 (兵庫県神戸市)	学校法人灘育英会灘中学校高等学校/株式会社日建設計/株式会社竹中工務店/株式会社朝日興産/野崎造園土木株式会社	校舎の、2～4 階屋上につくられた 622.19 m <sup>2</sup> の屋上庭園。耐震改修の格子梁上や図書館棟へ続く大階段の両脇に緑化ボックスを設置し、立体的に校内全体が緑で囲まれるように工夫されている。

## 第 13 回 屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール 実施概要

### ■ 目的

屋上等特殊空間の緑化について、意欲的に取り組み優れた成果をあげている民間企業、公共団体、個人等を顕彰することにより、屋上等特殊空間の緑化技術の一層の普及推進を図り、もって都市環境の改善を進め、豊かな都市生活の実現に寄与することを目的とする。

### ■ 応募対象

屋上緑化部門	建築物の屋上、屋根の緑化
壁面・特殊緑化部門	① 建築物の壁面の緑化 ② 土木構造物の高架上空間、高架下空間、人工地盤(駅前広場等)の緑化 ③ 屋内(アトリウム、室内、地下空間等)、ベランダの緑化 ④ 土木構造物の壁面(高架道路壁面、擁壁等)の緑化 ⑤ その他通常の方法では緑化が困難な空間の緑化

・ 応募作品の完成時期：平成 25 年 3 月 31 日までに完成したもの。

### ■ 表彰

表彰	表彰者	部門と表彰作品数	適用
国土交通大臣賞	国土交通大臣	屋上緑化部門 1 点以内	各部門において特に技術水準が高く、今後の都市緑化技術の模範となる最も優れた作品
		壁面・特殊緑化部門 1 点以内	
環境大臣賞	環境大臣	屋上緑化部門 1 点以内	
		壁面・特殊緑化部門 1 点以内	
日本経済新聞社賞	日本経済新聞社	屋上緑化部門 1 点以内	各部門における特に優れた作品
		壁面・特殊緑化部門 1 点以内	
都市緑化機構会長賞	都市緑化機構会長	2 点以内	特に技術水準が高く、優れた作品
審査委員会特別賞	審査委員長	若干	審査委員会において必要と認められた場合

### ■ スケジュール

募 集 平成 26 年 4 月 1 日 応募締切り 平成 26 年 7 月 30 日  
 審査委員会 平成 26 年 9 月 10 日 入選発表 平成 26 年 10 月 16 日  
 表彰式 平成 26 年 10 月 22 日 (於：東京ガーデンパレス)

### ■ 審査委員

委員長	近藤 三雄	東京農業大学 名誉教授
委員	井上 洋	一般社団法人 日本経済団体連合会 社会広報本部長
	仙田 満	東京工業大学 名誉教授
	野口 智子	ゆとり研究所 所長
	真部 保良	日経 BP 社 日経 BP インフラ総合研究所 主席研究員
	森本 幸裕	京都学園大学 バイオ環境学部 教授
	山崎 誠子	日本大学 短期大学部 建築・生活デザイン学科 准教授
	山田 宏之	大阪府立大学 生命環境科学部 教授
	町田 誠	国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 緑地環境室長
	真先 正人	環境省 水・大気環境局 総務課長
	笹井 俊克	一般財団法人 日本建築センター 専務理事
	宮下 和正	公益財団法人 都市緑化機構 専務理事

### ■ 主催・後援等

- ・ 主催：公益財団法人都市緑化機構
- ・ 後援：国土交通省、環境省、東京都、日本経済新聞社
- ・ 協賛：一般財団法人公園財団、公益財団法人都市計画協会、一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、一般社団法人日本公園緑地協会、一般社団法人日本造園建設業協会、一般社団法人日本公園施設業協会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人公共建築協会、一般社団法人不動産協会、一般社団法人日本造園組合連合会、一般社団法人日本植木協会、一般社団法人都市計画コンサルタント協会、公益社団法人日本造園学会、一般社団法人日本ビルディング協会連合会、一般社団法人日本建築学会、一般財団法人日本建築センター、一般財団法人日本宝くじ協会、一般財団法人民間都市開発推進機構、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会

※ 審査委員が密接に関係する応募作品がある場合には、関係する審査委員は審査評価には関与しないよう配慮し審査委員会を運営しております。